



## 親子で考えよう!話し合おう! 暮らしに身近な“お金”のこと



▲講師のいちのせ氏

### ▶金融教育公開授業in多久◀

子どもたちがお金と上手な付き合い方ができるよう支援しようと『金融教育公開授業 in 多久』が1月16日、中部小学校(松田美恵校長)でありました。佐賀県金融広報委員会と同小学校の主催。発達段階に応じた話題や講師の体験談に、子どもたちは「楽しく、ためになる授業だった」、全プログラムを聞いた参観者からは「目からウロコのようなお話で勉強になり、もっとたくさんの人に聞いてほしかった」などの声が聞かれました。

※金融教育とは、お金や金融のさまざまな働きを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会について深く考え、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を養う教育。



教壇に立ったのは、テレビ番組などでも活躍するファイナンシャルプランナー・生活経済ジャーナリストのいちのせかつみ氏。ユーモアあふれる大阪弁で語り、コミュニケーションを取りながら授業を展開しました。

低学年(2年生)の授業は、「おやつとお小遣い」

がテーマ。日本の通貨やコンビニ店内のどこに何が売っているかなどでコミュニケーションをとった後、60円のお菓子数種類と同額の鉛筆を提

### 参観者の感想

- ・小さい子どもでも金銭の価値がよく分かる授業でした。
- ・お年玉のお礼状の話聞いて、実践してくれたらうれしいと思いました。

示し、「みんなにとつて本当に必要なものはどれか?」と質問し、同じ値段の物の価値や必要性を話し合いました。そして、「欲しいものが本当に必要なものか、考えて使おう。お金の使い方の上手な人は、価値をしっかりと考えられる人」と示し、お金は賢く使うこと、記録すること、粗末に扱わないことなどを伝えました。



高学年(6年生)のテーマは、「親子で学ぶお金の

上手な使い方」。9班対抗世界のお札当てクイズで、「お金に信用あるから値打ちがあり、その国も信用でき、みんなが幸せに生きている大前提になっていることがお金でもある」と説明。また、今後必要になる携帯電話について、「機能をどう使うかで使用料が大きく変わるのが携帯電話。大事なことは、賢く使えるかどうかが問題」と示し、扱い方で犯罪の被害者や加害者にもなる事例を挙げ、家族でル



業を参観した約100人の保護者

者を対象にした「学校と家庭でつなぐ金銭教育の在り方」と題した研修では、「親の給料が振り込みになったり、カードで買物したり、昔に比べるとお金の流れが見えにくくなった現代。だからこそ、そ

### 参観者の感想

- ・外国の紙幣を手に取り、国際感覚も学べたと思います。
- ・お金も携帯電話も、子どもとよく話し合ってルールを決めて与えたいと思いました。
- ・お金や携帯電話に対する考え方が非常に参考になりました。
- ・将来持つようになる携帯電話の話をも今のタイミングで話してもらえてよかった。

ルを決めて使い始めることの大切さなどを話しました。

### 参観者の感想

- ・今の子どもたちの置かれている状況が私たちの時代と違い、難しくなってきた。これからは親が注意すべきこと。家庭での教育を反省させられた。

れに変わるべきものを子供たちに見せていけないといけないのが今の時代」と切り出し、講師自身の実践や全国の講演活動で学んだ事例をもとに、親世代が子どもの頃に無かったから意識も扱い方にもギャップがある携帯電話の持たせ方やお小遣いの渡し方、渡す時期などヒントを伝授。「必要なものと欲しいものは違う。自分の子どもをしっかりと見てあげ、興味を持ったときに、話し合うこと。話し合えることができる家庭環境が大事で、守るべきことを家族で決めないと迷うのは子ども」などと話し、暮らしに身近なお金に関する情報を提供しました。

### 教育委員会だより

#### ■問い合わせ

教育委員会教育統括室(市役所4階) ☎75-3450

2月12日に教育委員会を開き、議題の「公民館長の任命」、「就学援助の認定」や「多久市教育委員会評価委員会設置要綱」について協議し、承認しました。次回の定例教育委員会は、3月5日(木)13時30分第3委員会室(市役所2階)で開催します。傍聴は自由です。